

令和5年度学校評価シート（自己評価）

東川口

幼稚園

1、園の教育目標

東川口幼稚園の建学の理念は、「真に健全で調和的人格の樹立をめざし、きめ細かな教育計画のもと、個性尊重と自主性の促進につとめ、幼児に最も大切な「しつけ」を重視し、豊かな情操と逞しい創造力を培い、いかなる困難にもくじけぬ実践力と健全な身体をもって自学自律出来る人格の育成を旨として創立された」のである。

この理念達成のために、次の教育目標を掲げている。

- (1) 調和的人格の育成
- (2) 健全な心身の育成
- (3) 保育の資質向上
- (4) 個性尊重と自主性の促進

2、具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
(1) 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	A	保育後に行う学年会等でその日の園児の活動状況を報告して共通理解が持てるように心がけ、その中で出る反省を基に発達に応じた内容を検討し、カリキュラムを立てたり、実践できるよう変更したりしていった。
(2) 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	A	クラス担任だけでなく、園の職員全体で園児一人ひとりを見守り、相談しながら保育している。また、学年の発達に応じた指導のみならず、どこに目を向けていけば成長を促せるかを常に考えて個別の対応もしていった。
(3) 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	B	学期ごとに目標（課題）を持ってクラス運営を進めた。また、学期末に行う参観や行事で保護者へ成長（成果）をお見せできるようにしている。
(4) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	C	子どもの興味や関心が持てるよう環境設定に配慮しているが、園児が自発的に使用できるよう、道具や素材を改善していく必要がある。
(5) 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	B	基本的な生活習慣が習得できるよう、見本を見せて園児に分かりやすく指導し自然と身に付くようにしていった。しかし、習得には個人差があるのでその都度個別の対応が必要である。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	4年間制限されてきた集団生活が、新型コロナウイルスの取り扱いが5類へ移行したことでコロナ禍前の通常へ戻れることとなつての初年度。「普通の生活」をすることが返って難しくなったようにも感じる現状で、園児の為にできる限り最善を尽くして保育内容を見直し教職員一同で保育にあたることができた。今後も園児が園目標である「あかるく なかよく げんきよく」活動できるよう、その都度状況を考えながら計画を立てていきたい。

○結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
気候の変動による保育内容の見直しと実施方法について	夏期の気温上昇による屋外での活動の見直しと、室内活動を充実させるための研究をする。(室内プール、園舎内ホールの有効活用等)

